

◎高等学校等就学支援金制度に伴う阿南高専の授業料について

1. 阿南高専の授業料は、年額234,600円(前期分：117,300円，後期分：117,300円)です。

2. 保護者が負担する授業料

高等学校等就学支援金については、平成22年3月31日に「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」が成立し、平成22年4月1日から施行されています。

これに伴い、平成22年度に保護者が負担する授業料は、就学支援金の申請手続きを行い、所得に応じて就学支援金額が決定された後、確定します。

詳細は、下記をご参照ください。

記

(1) 高等専門学校（本科1年生～3年生）

(単位：円)

| 区 分 | 負 担 す る 授 業 料 | | | 就学支援金 (年 額) |
|-------------------------------|---------------|---------|---------|----------------|
| | 年 額 | 前 期 分 | 後 期 分 | |
| 一般世帯 | 115,800 | 57,900 | 57,900 | 118,800 |
| 低所得世帯 【年収250万～350万円未満程度】※1 | 56,400 | 28,200 | 28,200 | 178,200 |
| 低所得世帯 【年収250万円未満程度】※2 | 0 | 0 | 0 | 234,600 |
| 在籍36ヶ月を超える学生 ※3 | 234,600 | 117,300 | 117,300 | 0 |

※1 年収250万円～350万円未満程度とは、4人家族（妻は専業主婦，子ども2人）の場合の参考金額であって，市町村民税の所得割額が18,900円未満の世帯

※2 年収250万円未満程度とは，4人家族（妻は専業主婦，子ども2人）の場合の参考金額であって，市町村民税の所得割額が非課税の世帯

※3 就学支援金は，在籍36ヶ月までの学生を対象としています。留年等で在籍が36ヶ月を超える場合は，支給対象となりません。

備考：学生が早い段階で退学した場合には，それ以後の就学支援金は支払われなくなりますが，学生に対する授業料債権そのものはなくなっておらず，学校は不足額について従前どおり学生に請求することになります。

(2) 高等専門学校（本科4年生～5年生及び専攻科生）

(単位：円)

| 区 分 | 負担する授業料 | | | 備 考 |
|---------------------|---------|---------|---------|-----|
| | 年 額 | 前 期 分 | 後 期 分 | |
| 本科4年生～5年生 及び専攻科生 | 234,600 | 117,300 | 117,300 | |

3. 授業料免除

本科4年生、5年生及び専攻科生で、経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生は、本人の申請に基づき選考の上、授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

また、本科3年生以下の学年で、「高等学校等就学支援金」制度により授業料の全額が支援されない者について、免除の対象となる場合があります。

4. 高等学校から大学を卒業するまでの進路別必要経費(授業料)の比較

上記2の「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律が継続して適用されるとした場合（入学料等は除きます。）の必要経費(授業料)総額です。

| 進路選択の別 | 卒業時 年齢 ※1 | 授 業 料 (年 額) | 授業料総額 |
|----------------------|-----------------|--|------------|
| 公立高等学校 → 国立大学 ※2 | 22歳 | (0円×3年間)+(535,800円×4年間) | 2,143,200円 |
| 阿南高専 → 国立大学 ※3 | 22歳 | (115,800円×3年間)+(234,600円×2年間)+(535,800円×2年間) | 1,888,200円 |
| 阿南高専 → 阿南高専専攻科 ※4 | 22歳 | (115,800円×3年間)+(234,600円×4年間) | 1,285,800円 |
| 阿南高専 ※5 | 20歳 | (115,800円×3年間)+(234,600円×2年間) | 816,600円 |

※1 卒業時年齢は、中学校卒業時を15歳とした場合

※2 535,800円は、国立大学授業料の標準額

※3 高専1～3年生／高専4・5年生／大学3・4年生（大学3年次に編入）

※4 高専1～3年生／高専4・5年生／専攻科1・2年生

※5 高専1～5年生

阿南高専は大学と同じ高等教育機関として、実験・研究のための機材、施設・設備が充実しています。

卒業生の就職率100%は、大学卒業生の就職率を大きく上回っています。また、進学率(大学3年次への編入学、高専専攻科)も100%です。

このように、企業・大学からの高い評価を得られる能力を、上述の比較的安い経費で獲得できるのが阿南高専です。